

三郷市議会議員

討議資料

あいざわ けいいちろう
圭一郎

地域だよりの

Vol.03

34歳 情熱男走ります！

H22.01.01

明けましておめでとうございます

2010年も幕を開けました。皆々様におかれましては、内外ともに厳しい世相の中ではありますが、夢多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

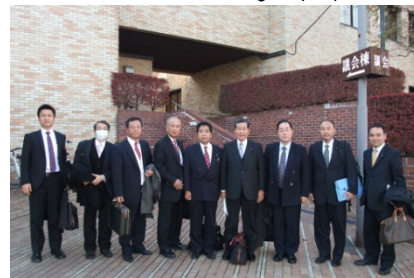
旧年中は、公私にわたり格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様にて市議会初当選をさせていただき、9月、12月と2回の定例会にて発言し、改めて、議会のもつ意義を実感しているところでございます。

11月には21世紀クラブ9名にて北海道へ視察に行きました。札幌市の就業サポートセンター事業について、また、千歳市の議会運営について学んで参りました。各自治体それぞれの特色を生かした地方自治を行っており、千歳市におきましては、一般質問における一部対面式導入など新たな取り組みをされていまして、本市におきましては、

新事業への取り組みなど、よりよい地域づくりに向けて協議していかねばならないと考えております。

初志、初心を忘れず決意を新たに努力して参りますので、本年も皆々様の温かいご指導ご支援のほど宜しくお願いいたします。



千歳市役所にて 写真右が逢澤

三郷市議会 21世紀クラブ 逢澤圭一郎

〒341-0018 三郷市早稲田2-10-7 TEL 957-8462 FAX 957-8465

ホームページ <http://www.aizawa-k16.com>

平成21年12月定例会の概要

平成21年11月25日第三回三郷市議会臨時会が行われ、議案第71号から議案第74号が審議されました。概要は、市長及び副市長、三郷市教育委員会教育長、職員の平成21年12月に支給する期末・勤勉手当の額改定(100分の15引き下げ)、議会の議員の期末手当の額改定(100分の15引き下げ)と改正されました。

平成21年12月定例会におきましては、議案第75号から議案第94号、請願4号が審議され、議案第92号「議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する一部を改正する条例」が否決され、また、請願第4号「自給力向上と、食の安心・安全の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正についての国への意見書提出を求める請願書」が不採択となった他は原案可決・同意されました。

議案第76号 原案可決

南児童センター及び早稲田児童センターの指定管理者を大新東ヒューマンサービス株式会社に指定

議案第84号 原案可決

株式会社朝日新聞社から権利譲渡された江戸川総合グラウンド(通称アサヒグラウンド)を江戸川第三運動公園として本年より開設

議案第91号 原案同意

公平委員会委員 水野晃氏の任期満了に伴い同委員に斉藤徹也氏が選任

議案第92号 否決

去る平成21年第3回臨時会において、議員提出による議案第73号にて議会の議員の期末手当の支給割合を「100分の15」引き下げを可決した経緯があるため

など、詳しくは配布される三郷市議会だよりをご覧ください。なお、請願第4号の不採択については、請願事項3点に対して義務化という言葉が使われ、経済が混迷している状況の中、抜本的改革には製造、販売業者へのしわ寄せが厳しいとの見解もあり、反対多数にて不採択となりました。

一般質問



高次脳機能障がい者支援に関して現状と今後の対策について

質問 4番議員 逢澤圭一郎

高次脳機能障がい者、平成11年の精神保健福祉法改正時から器質性精神障がいとして精神障がい者支援の枠組みで対応することになりました。そして、平成18年の障がい者自立支援法の施行により市町村の責務がうたわれ対応することになった訳でございます。本市と致しましては更なる協力支援体制、新たな取り組みを行って行くべきと考えます。そこで、専門部会終了後の現状と今後の三郷市としての対応、支援対策についてどのようにお考えか、また、全国に高次脳機能障がい者は30万人程いるという推計のもと、三郷市では300人強の方がお住まいに



なっていると推定されますが、把握されている人数をお答え下さい。

答弁 福祉部長

昨年、高次脳機能障がい専門部会が組織され調査研究がなされました。ポイントとして「地域のネットワークづくり」「社会資源の開発」「普及啓発」と問題が明らかになって参りました。対象者ですが、器質性精神障がいに分類される方につきましては、10月末現在で58人いらっしゃいますが、認知症の方も含まれますので高次脳機能障がいの方が何人いるか把握していないのが現状でございます。

再質問 4番議員 逢澤圭一郎

高次脳機能障がい者として支援を受けている方の状況を把握されていないということですが、出来るだけ早期に現状の実態把握に向け、健康推進課、障がい福祉課及び長寿いきが課の連携を図りながら取り組むべきと考えます。

- 埼玉県の入間市、川口市、所沢市などのように広報誌やホームページを通じて市民に啓発を行うことが必要と考えますがいかがでしょうか。
- 医療、保健、福祉、介護など本来、高次脳機能障がい者を支援する立場の人が高次脳機能障がいについて正しい知識を持っていないということもありますので研修会・講習会の開催などについてはいかがお考えでしょうか。
- 三郷市障がい福祉相談支援センター「パティオ」が埼玉県の事業として本年から「地域の社会資源を活用するためのネットワークを構築することにより、高次脳機能障がい者に対する支援を有機的につなげていく」ことになっておりますので、本市も連携して支援体制を構築していくべきではないでしょうか。

再答弁 福祉部長

今後、各課連携のもとで、高次脳機能障がい者の現状把握に努めて参ります。また潜在的な当事者や家族に対し、市の広報やホームページを通し、記事の掲載等により積極的に啓発に取り組んで参ります。

行政、医療、福祉、保健等支援にかかわる立場の方はもとより、広く市民の方々にも高次脳機能障がい者が正しく理解され、十分な支援に結びつくことが出来るよう機会をとらえて研修会等の開催を検討して参ります。

相談支援センターと連携を図りながら支援体制構築に向け取り組んで参ります。



市道 0113 号線、市道 0205 号線交差点における信号機取り付けについて

質問 4番議員 逢澤圭一郎

市立早稲田中学校の通学路でもある当交差点は、以前より接触事故、交通事故が絶えません。今日に至るまで様々な交通事故防止対策をされていることは当地を見ればよく分かりますが、もはや現状維持では安心・安全な街づくりを遂行しているとは言えません。是非、道路拡幅も検討にいらいただきながら、定周期式信号機、構造上、無理であるのなら一灯点滅式の信号機の設置を最優先に要望していただきたい。

答弁 福祉部長

当交差点については危険度は認識しております。現在一灯点滅式の信号機設置を吉川警察署に要望しておりますので引き続き信号機設置に向け要望して参ります。

※(質問、答弁共に抜粋 速記録は出来上がり次第ホームページに掲載致します。)

あいざわコラム



もしかしたら高次脳機能障がいでは…？

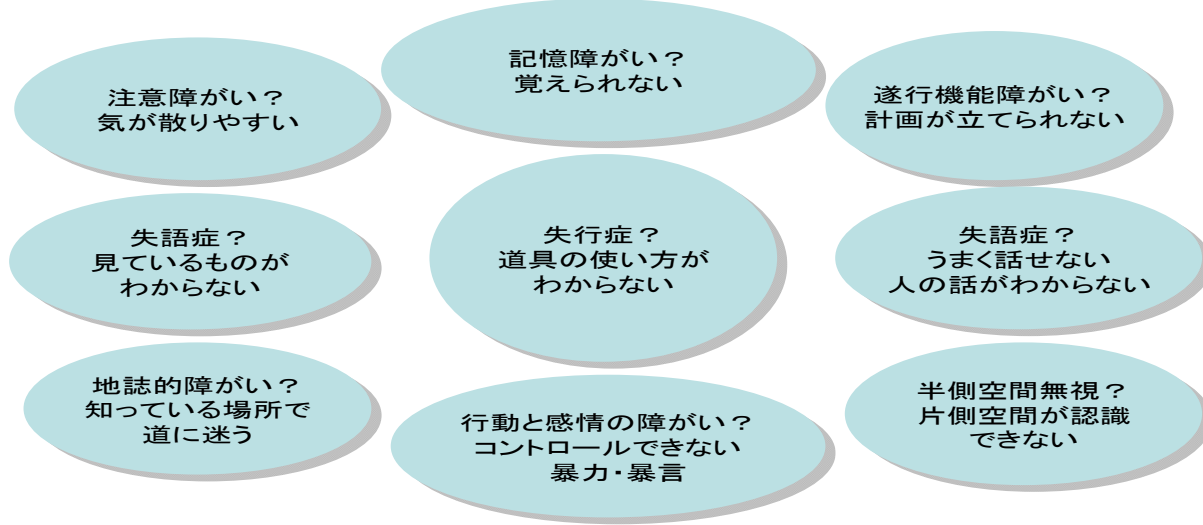
高次脳機能障がいとは？

脳にダメージを受けると新しい事が覚えられなくなったり、意欲が低下したり感情のコントロールがきかなくなったり、日常生活、社会生活の中で様々な場面で問題が生じることとなります。このような後遺症を高次脳機能障がいといいます。他の障がいに比べると外見上は障がいが目立たないことがあります。本人も自分の障がいを認識できていないことがあります。医療機関退院後、在宅での生活場面等において困る事が多くあります。

原因疾患は？

- 脳血管障がい
- 脳外傷
- 脳炎などの感染症
- 低酸素脳症
- 脳梗塞・脳出血・くも膜下出血 等
- 交通事故・転落・転倒 等
- 脳炎・脳膿瘍・エイズ脳症、インフルエンザ脳症 等
- 溺水・窒息・喘息の発作等による呼吸停止
- 心筋梗塞などによる心肺停止

どんな症状ですか？



相談窓口

埼玉県総合リハビリテーションセンター	地域支援担当	048-781-2222
三郷市役所 障がい福祉課	障がい福祉係	048-930-7778
三郷市障害福祉相談支援センターパティオ		048-950-2136
地域で共に生きるナノ	家族・当事者団体	048-956-2224